

# トップが語る

明けましておめでとうございます。  
ます。

平成24年の輝かしい新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、ご家族お揃いで、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、町議会に対して格別のご指導、ご鞭撻を賜り、大過なく新年を迎えることができましたこと、心から感謝申し上げますと共に、厚くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、国政では政権交代後2年が経過し、いまだ安定せず、政治不信が続く中、外交・防衛・経済などの諸問題が山積しており、失業者の急増、新卒者の就職難など厳しい現状であります。

一方、東日本大震災が発生し尊い生命・財産が失われ、原発事故による放射能汚染問題など全国的に影響が懸念されており、いまだその出口が見えていません。

そのような情勢の中、長きにわたる景気低迷の影響等により、社会経済は依然として厳しい状況下にあり、本町財政においても極めて厳しい環境にあります。この為、より一層の経費節減、

効率化など行財政改革が求められています。医療、福祉の充実・少子高齢化・若者定住・産業振興・防災対策など多くの課題が山積しています。

このような状況を打開するには、国において地域再生のため、東日本大震災の復興を早急に実施するとともに、自治能力を高め、都市と農山村が「共生」しうる社会を強力に進めていくことが重要であります。

国は、全国市町村の声に十分耳を傾け、真の分権型社会が実現されるよう、施策を展開されることを期待しています。

春には、高速道路が宇和島まで延伸されます。本町として、この延伸による経済効果を最大限に生かしていく施策を展開し、人的交流、地域経済活性化を図っていくことが大切だと考えています。

議会としても、今後地方分権の進展に伴い、議員の役割を十分認識し、地域町民の代表として更なる向上と研鑽を重ね、地域発展に貢献する所存であります。

結びに本年も相変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆さま方の益々のご健勝、ご多幸を心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

鬼北町議会議長  
松浦 司